

行政機能の配置の最適化と 具体の実行案の検討を始めました！

平成18年2月、愛荘町は旧秦荘町と旧愛知川町の2町が合併して誕生しました。役場庁舎は愛知川庁舎を本庁舎、秦荘庁舎を分庁舎とするなど、公共施設は見直ししないまま現在に至っています。

平成26年4月総務大臣通知により、公共施設がこれから大量に更新時期を迎えること、人口減少等により今後の利用需要が変化していくこと、合併後の施設全体の最適化を図る必要があること等を踏まえ、全国の市町村に管理計画の策定が要請されました。

愛荘町では、平成29年3月に「公共施設等総合管理計画」を策定し、さらに、住民や団体、学識者等を委員とする検討会で議論を重ね、平成31年3月に「個別施設計画」を策定し、施設の統廃合を基本原則に、施設ごとの方向性を取りまとめました。

令和2年2月28日に「愛荘町庁舎等のあり方検討委員会」を設置し、住民の皆さんと情報共有しながら、「個別施設計画」等に基づき行政機能の配置の適正化を検討し、将来世代に課題と負担の先送りをすることなく取り組んでいくための具体の実行案を今後取りまとめていきます。

